



2017年12月28日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第152号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- エルサルバドル共和国の元大臣との意見交換
- 防災政策に関する講義
- 2017年JAEЕ年次大会への参加

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

エルサルバドル共和国の元大臣との意見交換

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

11月29日(水)に、エルサルバドル共和国から、ヘルソン・マルティネス氏

(前 公共事業・運輸・住宅・都市開発大臣)とエミリオ・ベントウーラ氏(公共事業・運輸・住宅・都市開発省気候変動適応・リスク管理局長)、及び在東京エルサルバドル大使のマルタ・セラヤンディア氏が来所し、緑川理事長等の建築研究所関係者とこれまでの耐震プロジェクトの現状や今後の取り組みについての意見交換が行われました。

なお、エミリオ・ベントウーラ氏は、2006-2007 通年研修のE (Earthquake Engineering) コースを修了した元研修生で、12月1日付けで公共事業担当の副大臣に任命されたと聞いています。



建築研究所の施設視察：
左からエミリオ氏、緑川理事長、
マルティネス氏



緑川理事長と意見交換をするマルティネス氏(左から2番目)、
セラヤンディア大使(左端)ら

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



楽しむのは今です。

防災政策に関する講義

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

国際地震工学センターで実施している地震工学通年研修は、政策研究大学院大学（GRIPS）と連携していることから、修士号を取得することも可能です。

GRIPS の修士（防災政策）号取得を目指している研修生は、つくばから東京に場所を移して、防災政策に関する専門的な講義を受講（11月27日（月）から12月8日（金）まで）してきました。

東京では、GRIPS の先生による講義に加え、六本木ヒルズ、東京スカイツリー及び墨田区鐘ヶ淵地区における防災の取り組みを視察するとともに、研修生をグループ分けして防災政策に関する発表と議論も行われました。



連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

**バックナンバーは
下記をご覧下さい。**

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

2017 年 JAEЕ 年次大会への参加

国際地震工学センター 上席研究員 小豆畑 達哉

2017 年日本地震工学会年次大会が、11 月 9 日と 11 月 10 に東京大学にて開催された。国際地震工学センターの E コースの研修生が、この会議中の国際セッションに出席するとともに、日本の民間企業によるいくつかのエキジビションを見学した。また、横井センター長、犬飼、小豆畑の両上席研究員が、本会議にてそれぞれ研究発表を行った。

国際セッションでは、組積造壁の非線形挙動や鉄筋コンクリート構造の靱性評価のような、現在、数人の研修生が取り組んでいる研究項目を取り上げていた。エキジビションでは、日本の技術者から、直接、建物建設のための製品やソフトウェアについて説明を聞くことが可能であった。また、日本に滞在中の諸外国の学生と様々な情報を交換することができた。本会議に出席することにより、非常に有意義な時を過ごすことができたようである。